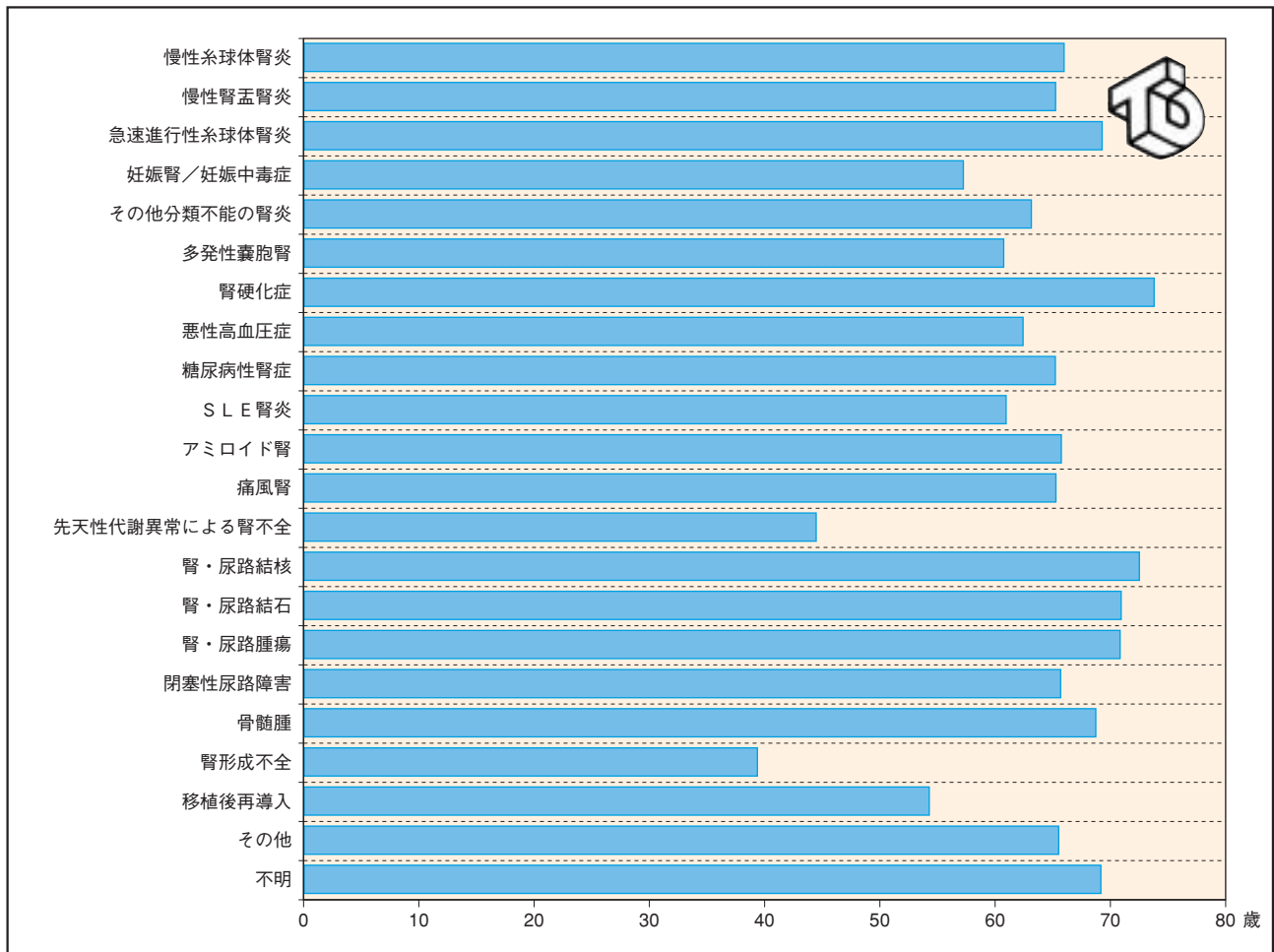


### 3) 導入患者の現状

#### (2) 導入患者の原疾患と平均年齢 (図表10)



原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
慢性糸球体腎炎	8,914 (25.6)	65.94	14.48
慢性腎盂腎炎	295 (0.8)	65.20	14.96
急速進行性糸球体腎炎	421 (1.2)	69.24	14.36
妊娠腎/妊娠中毒症	44 (0.1)	57.20	15.21
その他分類不能の腎炎	149 (0.4)	63.10	19.03
多発性嚢胞腎	827 (2.4)	60.70	12.65
腎硬化症	3,262 (9.4)	73.75	11.24
悪性高血圧症	269 (0.8)	62.38	17.37
糖尿病性腎症	14,968 (42.9)	65.18	11.56
SLE腎炎	268 (0.8)	60.91	15.16
アミロイド腎	168 (0.5)	65.70	11.16
痛風腎	113 (0.3)	65.23	12.45
先天性代謝異常による腎不全	30 (0.1)	44.43	24.74
腎・尿路結核	19 (0.1)	72.47	11.20
腎・尿路結石	75 (0.2)	70.89	9.24
腎・尿路腫瘍	158 (0.5)	70.80	11.78
閉塞性尿路障害	128 (0.4)	65.64	16.45
骨髄腫	137 (0.4)	68.69	9.77
腎形成不全	51 (0.1)	39.33	27.18
移植後再導入	224 (0.6)	54.24	16.29
その他	903 (2.6)	65.47	16.54
不明	3,454 (9.9)	69.13	13.80
合計	34,877 (100.0)	66.38	13.41
記載なし	315	68.68	12.41
総計	35,192	66.40	13.40

数値右のカッコ内は列方向の合計に対する%です。

#### 解説

##### 導入患者の原疾患別人数と平均年齢

透析に導入された原因疾患は、第一位が糖尿病性腎症で42.9%、第二位が慢性糸球体腎炎で25.6%、不明が9.9%、腎硬化症が9.4%であった。糖尿病性腎症と腎硬化症の割合が増加する傾向が続いている。原因疾患不明の数も漸増している。

主要原因疾患別の導入時の平均年齢は、糖尿病性腎症で65.2歳、慢性糸球体腎炎で65.9歳である。腎硬化症の平均年齢は73.8歳で高齢者がほとんどであり、導入患者全体の平均年齢は66.4歳であった。この値も年とともに上昇していて、2005年と比較して0.2歳上昇した。